

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 深堀学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
工業専門課程	グローバル ICT 学科	夜・ 通信	10	7	
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	夜・ 通信	11	7	
	ホテルブライダル観光学科	夜・ 通信	9	7	
	国際ビジネス学科 (夜)	(夜)・ 通信	9	4	
文化教養専門課程	ビジネス日本語学科	夜・ 通信	7	7	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.cbc.ac.jp/introduction/> 内での公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 深堀学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 語学(英語科目)、専門科目(ICT、貿易・航空、ホテル・観光)、PC関連科目のそれぞれの専任教員によるミーティングを持ち、科目設定、テキスト選定、授業内容、授業運営について年度開始前に話し合いをして基本ラインを決めている。担当教員が担当する科目の特性を理解し、基本ラインに基づいて到達目標を定め、シラバスを作成する。 成績評価方法については、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等のいずれか、もしくは組み合わせで評価点を出すことを授業開始時に各教員が定め、シラバスに記入をしている。 シラバス作成時期：3月下旬、9月上旬 シラバス公表時期：4月中旬、9月下旬	
授業計画書の公表方法	Google Classroom 内での公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学科・コースの担任が随時個人面談を行い、学習意欲の把握をし、アドバイスを行っている。担当教員が定めた評価方法に従い、それぞれの項目において評価点を出し、学期末に100点満点となるよう集計し、教務に提出をする。科目の評価はシステムで管理され、単位認定を行っている。60点未満の評価を受け、単位認定がされなかった場合は、課題レポートの再提出、再試験等のチャンスを与えている。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)] 100-90 S 4.0 89-80 A 3.0 79-70 B 2.0 69-60 C 1.0 59 以下 不可 $(S \text{ 取得単位数} \times 4) + (A \text{ 取得単位数} \times 3) + (B \text{ 取得単位数} \times 2) + (C \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$ [ビジネス日本語学科] 100-90 S 5.0 89-80 A 4.0 79-70 B 3.0 69-60 C 2.0 59 以下 D 1.0 $(S \text{ 取得単位数} \times 5) + (A \text{ 取得単位数} \times 4) + (B \text{ 取得単位数} \times 3) + (C \text{ 取得単位数} \times 2) + (D \text{ 取得単位数} \times 1) \div \text{取得総単位数}$	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) グローバル ICT 学科／国際ビジネス学科／ホテルブライダル観光学科／国際ビジネス学科(夜)/ビジネス日本語学科 2 年課程---最低就業年数：2 年 最低総単位数：62 単位 単位認定は、成績並びに出席状況を確認し行っている。半期ごとに学生ごとの単位取得状況を把握し、次学期又は次年度の履修指導を行い、卒業認定の際の単位不足などによる卒業不可の状況が起こらないように取り組んでいる。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	外語ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 深堀学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
収支計算書又は損益計算書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
財産目録	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
事業報告書	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表
監事による監査報告（書）	https://www.cbc.ac.jp/introduction/ 内での公表

2. 教育活動に係る情報

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
グローバル ICT 学科	130,000 円	864,000 円	180,000 円	在籍基本料 施設維持費
国際ビジネス学科	130,000 円	864,000 円	180,000 円	在籍基本料 施設維持費
ホテルブライダル観光学科	130,000 円	864,000 円	180,000 円	在籍基本料 施設維持費
国際ビジネス学科(夜)	50,000 円	672,000 円	108,000 円	在籍基本料 施設維持費
ビジネス日本語学科	100,000 円	760,000 円		
修学支援（任意記載事項）				
深堀学園奨学金、資格奨学金、商業教育推薦、定通教育推薦、指定校推薦 (ビジネス日本語科を除く)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.cbc.ac.jp/introduction/
「(1)令和6年度学校自己評価報告書」
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）
・地域の国際交流拠点としての働きを持ち、学生・保護者・業界関係者などに自己評価の結果を提示して、客観的な評価やご意見を頂いています。
・本評価を行うことで、学校関係者との関係を深め、更に連携やご協力を仰ぐきっかけとしております。

・ 1 年に 1 回、自己評価を元に学校関係者に意見を頂いております。

【評価項目】

基準 1. 教育理念/目標

基準 2. 学校運営

基準 3. 教育活動

基準 4. 教育成果

基準 5. 学生支援

基準 6. 教育環境

基準 7. 学生の募集と受け入れ

基準 8. 財務

基準 9. 法令等の順守

基準 10. 社会貢献

基準 11. 国際交流

基準 12. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果基準

【評価委員の構成】

委員の定数：5 名

委員の選出区分：高等学校関係者、関係団体有識者、財務有識者、本校卒業生、地域関係者

【評価結果の活用方法】

委員会で評価を頂いた内容について、委員会終了後 2 か月を目途に指摘事項について会議を開催し、改善案などを学校長に報告する。

第三者評価の委員

所属	任期	種別
神奈川県高等学校定時制通信制教育振興会 会長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日（5 年）	高等学校関係者
川崎商工会議所元会頭、名誉顧問 慶應義塾大学 評議員	令和 8 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日（5 年）	関係団体有識者
Letter Release 代表取締役	令和 8 年 4 月 1 日～令和 13 年 3 月 31 日（5 年）	会社経営者
2024 年度卒業生 物流会社勤務 通関士	令和 8 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日（3 年）	本校卒業生
川崎中央第一社会福祉協議会 理事 駅前本町婦人部 部長	令和 8 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日（3 年）	地域関係者

第三者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.cbc.ac.jp/introduction/> 内での公表

（備考）

第三者評価は行っておりません。学校関係者評価について記載しております。

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.cbc.ac.jp/> / 内での公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 英語コミュニケーションコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1860 時間) 単位時間／単位	14-16 単 位 (420- 480 時間)	32-75 単 位 (960- 2280 時 間)	8-46 単位 (240- 1380 時 間)	0	0
			合計の単位数 126-203 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		55 人	16 人	11 人	18 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）グローバルな現代社会において、日本国内で完結する仕事が減少し、海外と係らなければ業務が進まないという状況になってきています。このような状況下で企業より求められている、国際ビジネス業界で働くための、下記の知識・技能を習得させることを目的とし、授業の内容により講義、演習、実習の形式を取っています。 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(異文化研究、世界に通用するホスピタリティ、観光地理、料飲サービス、翻訳通訳実務) 3. パソコン知識・技能 前期、後期制を取っており、年間で目標とする知識・技能をバランスよく学べるよう2年間の授業計画を立てています。
成績評価の基準・方法
（概要）授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布しています。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となっています。
卒業・進級の認定基準
（概要）講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。
学修支援等
（概要）クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行います。学生が自由に相談に来ることができる体制があります。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

20 人 (100%)	3 人 (15%)	12 人 (60%)	5 人 (25%)
(主な就職、業界等) 航空、ホテル、旅行、飲食、テーマパーク、教育、大学編入、他 (株)アパグループ アパホテル、(株) ミスターマックス・ホールディングス、(株) 重慶飯店 ローズホテル横浜、(株)湘南ユニテック、羽田空港サービスグループ、(株)ウィルオブ・コ ンストラクション、(株)近鉄 HR パートナーズ、(株)vivavista、(株)日影茶屋、神奈川大学(編 入) 他			
(就職指導内容) 企業をお呼びしての就職ガイダンスの実施、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面 接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC IP、Microsoft Office Specialist、サービス 接遇検定、実用英語技能検定試験、世界遺産検定、日商簿記検定、色彩検定他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	4 人	7.41%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生とこまめに面談をし、学生の心の ケアを行っています。また、経済的な理由により、アルバイト過多になり出席状況が 悪くなり、学費の支払いが出来ずに退学をする学生がおり、このような学生に対して は、学費の分納処置を取るなどして、対応をしています。また、在学中に就職のため 通学が困難になる時期が生じた場合、本人に卒業の意思があれば、特別な処置をとり、 卒業に結びつくよう配慮をしています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 貿易・航空ビジネス コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
	講義		演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位 (1860 時間) 単位時間／単位	14-26 単 位 (420- 780 時 間)	30-68 谷 単位 (300- 2040 時 間)	10-46 単 位 (300- 1380 時 間)	0	0
	合計単位数 54 - 140 単位						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		56 人	31 人	11 人	18 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）グローバルサプライチェーンが確立している現代社会において、日本国内で完結する物流が減少し、海外と係らなければ業務が進まないという状況になってきています。このような状況下で企業より求められている、国際ビジネス業界で働くための、下記の知識・技能を習得させることを目的とし、授業の内容により講義、演習、実習の形式を取っています。 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識（貿易知識・実務、航空貨物取扱知識・技能、フォワーディング、マーケティングなど） 3. パソコン知識・技能（Excel、Word、Power Point、総合演習、Photoshop） 前期、後期制を取っており、2年間で目標とする知識・技能をバランスよく学べるよう授業計画を立てています。
成績評価の基準・方法
（概要）授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布しています。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等です。
卒業・進級の認定基準
（概要）講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与します。
学修支援等
（概要）クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行います。学生が自由に相談に来ることができる体制があります。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

26 人 (100%)	0 人 (0%)	25 人 (96.2%)	1 人 (3.8%)
(主な就職、業界等) 国際物流、フォワーダー、エアカーゴ、航空貨物代理店、船舶代理店等 株式会社 ANA Cargo、ドイグロジャパン株式会社、日本通運株式会社横浜国際輸送支店 ノットグローバルホールディングス株式会社、トナミ国際物流株式会社、ロジスティード エクスプレス株式会社、インターナショナルエクスプレス株式会社、株式会社インター ナショナルエアカーゴシステムインク、ニポン株式会社、グローバルロジスティクス 株式会社、Sanstar Line Co., Ltd.、株式会社エスビーティー			
(就職指導内容) 企業の方をお招きしての講話、インターンシップ、学校内会社説明会、先輩による就職 体験発表、エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ 細やかな指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) IATA ディプロマ基礎 19 名 (90%以上の Distinction での合格者 2 名) 貿易実務検定 C 級 19 名 貿易実務検定 B 級 18 名 IATA ディプロマ危険物 19 名 (90%以上の Distinction での合格者 19 名)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	1 人	1.9%
(中途退学の主な理由) 休職中の会社へ戻るため帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任が学生とこまめに面談をし、学生の心の ケアを行っています。また、経済的な理由により、アルバイト過多になり出席状況が 悪くなり、学費の支払いが出来ずに退学をする学生がおり、このような学生に対して は、学費の分納処置を取るなどして、対応をしています。また、在学中に就職のため 通学が困難になる時期が生じた場合、本人に卒業の意思があれば、特別な処置をとり、 卒業に結びつくよう配慮をしています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ホテルブライダル観 光学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位 (1860 時間) 単位時間／単位	34-42 単位 (1, 020- 1, 260 時間)	82-103 単 位 (2, 460- 3, 090 時間)	10-58 単位 (300-1, 740 時間)		
			合計の単位数／授業時間 126-203 単位 (3, 780-6, 090 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		48 人	30 人	11 人	14 人	25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）インターネットの普及により、世界中でビジネスがリアルタイムで行われている現代において、コアスキルとして英語とパソコンを身に付けた人材の育成が急務とされています。そのコアスキルをベースに、ホテル・ブライダル・観光といった専門性を加え、更におもてなしの心を兼ね備えたサービスのプロフェッショナルとして活躍するために、以下の知識・技能を習得させることを目的とします。 1. 英語コミュニケーション力 2. 専門知識(ホテル・ブライダル・観光の知識および実務、世界中で通用するおもてなし・ホスピタリティ) 3. パソコン知識・技能(Excel、Word、Power Point、総合演習、Photoshop)
成績評価の基準・方法
（概要） 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布する。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） クラス担任が随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行う。学生が自由に相談に来ることができる体制がある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (78.6%)	3 人 (21.4%)

(主な就職、業界等) ホテルスタッフ、バンケットスタッフ、ウェディングプランナー、ツアーコンダクター、ツアープランナー等 ヒルトン小田原リゾート&スパ、ダブルツリーby ヒルトン東京有明、ANA インターコンチネンタル東京、株式会社下田セントラル、The Court 株式会社、ルートインジャパン株式会社、株式会社サンオータス
(就職指導内容) 企業の人事担当者の方による企業説明会や就職ガイダンスの実施、履歴書等の添削、模擬面接の実施、インターンシップなど、個人のニーズを丁寧にヒアリングしたうえで、適性に合わせた細やかな進路指導を実施している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅程管理主任者 28 名合格 世界遺産検定 3 級 4 名合格 色彩検定 3 級 5 名合格 ユニバーサルマナー検定 3 級 11 名合格 社会人常識マナー検定 Japan Basic 2 名合格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	2 人	5.4%
(中途退学の主な理由) 2 年次後期の出席率が足りず、卒業認定できなかったため 卒業までに学費が払いきれず、卒業認定できなかったため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、副担任が授業内外で学生とこまめに面談をし、学校生活や家庭状況の把握に努めています。学費が理由で退学に繋がらないよう、一括の支払いが難しい学生には分納処置を薦めています。留学生の場合、日本語教師によるカウンセリングを行い、悩みや問題点を話しやすい環境作りをしています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	グローバル ICT 学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位（1860 時間） 単位時間/単位	単位時間 21-32/単位	単位時間 53-66/単位	単位時間 39-42/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位	
			単位時間/113-140 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
108 人		72 人	29 人	11 人	11 人	38 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） インターネットビジネスにおいて、日本国内及び日本人だけをターゲットとしたビジネスモデルの限界が見える中、国境を越えて活躍できるグローバルビジネスパーソンの育成が企業から求められています。本学科は、グローバルなコミュニケーションを支える情報・技術を身につけた「グローバル ICT 人材」となることを目的に、下記の知識・技能を習得します。 1. グローバルコミュニケーション（デジタルコミュニケーションも含む）力の向上 2. マルチリンガルなウェブ制作スキルの習得 3. プログラミングスキル及び IT 翻訳（ウェブ翻訳）スキルの習得 4. ネットワーク及びセキュリティ知識の習得 5. AI の基礎知識の習得
成績評価の基準・方法
（概要） 授業開始時に各講師が成績評価方法を記した科目ごとのシラバスを配布する。評価方法は、学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、実技等となる。
卒業・進級の認定基準
（概要） 講師から出された前学期、後学期の学科ごとの評価を基に、出席率と合わせて単位認定を行い、62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） 学科長及びクラス担任が対面のみならずオンラインでも随時個別相談を行い、生活指導、学習支援、就職支援を行う。学生が自由に相談に出来る体制がある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29 人 (100%)	3 人 (10.3%)	19 人 (65.5%)	7 人 (24.1%)

(主な就職、業界等)		
職種：エンジニア（ソフトウェア開発、フィールドエンジニア）、事務職、番組制作アシスタントディレクター、客室乗務員、営業		
業界：IT 企業、メディア業界、航空業界、飲食・販売		
(就職指導内容)		
厚生労働省指定キャリアコンサルタント試験合格の学科長が短期的な就職支援はもちろん、長期視野にたったキャリア形成支援を実施		
(主な学修成果（資格・検定等））		
資格・検定名	受験者数	合格者数
ビジネス統計エクセル分析一般	20 人	14 人
MOS Excel	—	20 人
TOEIC	64 人	—
英語実務検定 2 級	28 人	14 人
簿記初級	41 人	24 人
.com Master BASIC	12 人	11 人
(備考) (任意記載事項)		
国家資格キャリアコンサルタントの資格を所有する者が、カリキュラム設定などを行っています。		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
単位制を活用した卒業までの年限変更や学費の分納、夜間部への転科など本人の学習継続意欲がある限り、様々な方法を提示しています。大学進学志望者には同学園の専門職大学への編入をご案内しています。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	国際ビジネス学科 (夜)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜	62 単位 (1860 時間) 単位 時間／単位	単位時間 15-31/単 位	単位時間 43-65/単 位	単位時間 15-31/単 位	単位時間 /単位	単位時間 1-16/単 位
			単位時間／77-146 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		2 人	0 人	18 人	22 人	38 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）英語、ICT、キャリア開発、貿易・航空、および社会基礎分野について、半 期科目を履修
成績評価の基準・方法
（概要）学期末試験、小テスト、課題レポート、発表、作品提出、実技等
卒業・進級の認定基準
（概要）講師から前学期、後学期の評価を貰い、出席率と合わせて単位認定を行い、 62 単位以上を取得した学生に卒業証書を授与する
学修支援等
（概要）必要に応じて生徒、場合によっては保護者との面談を行い、学費や履修科目、 卒業時期等について支援を行う

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (100%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) エントリー指導、提出書類の添削、模擬面接の実施等、個人に合わせたきめ細やかな指 導を行っている。			

(主な学修成果（資格・検定等）)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	2 人	50%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費についての入学前の個別案内の徹底		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化教養		専門課程	ビジネス日本語学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	62 単位時間／単位	62 単位時 間／単位	139 単位 時間／単位	28 単位時 間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
50 人		30 人	29 人	8 人	30 人	38 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）1 年次では、まず、日本語・ビジネス日本語力の定着を図っていきます。そして、様々な学校内での場面においてもその力を運用し活かしていくことができるよう、各科目の先生方と連携を図り、コミュニケーション力を高めていきます。また、専門科目においては、経済社会の基礎の定着を図った上で、単なる知識としての科目とならぬよう、現代を取り巻くニュース・新聞記事を取り上げ、「経済社会」の一員としての視野を広げていきます。2 年次では、1 年次に積み上げた日本語・ビジネス日本語力をもとに、マーケティングや IT 関連などの専門科目を幅広く学び、専門性を身につけていきます。また、学年末には企業の方々をお招きしての卒業制作発表を行うため、1 年をかけてグループごとに話し合いを重ね、取り組んでいきます。
成績評価の基準・方法
（概要）評価方法は、学期ごとの定期試験、小テスト、課題提出、発表等のいずれか、もしくは組み合わせで、科目ごとに評価をします。各教員から学期ごとの評価をいただき、総合的評価の確認を成績判定会議で行います。成績評価の基準に満たない学生については、基準に達するまで、再試験を行います。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業については、教員から前学期、後学期の評価をいただき、出席率と合わせて卒業判定会議を行い、成績・出席率等の要件を満たした学生には卒業証書を授与します。進級については、教員から前学期、後学期の評価をいただき、出席率と合わせて進級判定会議を行います。成績・出席率等の要件を満たした学生は進級できます。
学修支援等
（概要）クラス担任制です。2 回連続して授業を欠席した学生については、教師より担任に報告がいきます。報告を受けた担任が、学生と面談をし、問題を解決するよう努力しています。補講・再試を行う等、すべての学生が授業についていける配慮をしています。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 (100%)	3 人 (27.3%)	8 人 (72.7%)	人 (%)

(主な就職、業界等) 幅広い分野に就職します。 宿泊・接客、IT、貿易、観光、マーケティング・会計、不動産
(就職指導内容) 就職活動指導に関しては、より実践的な授業を取り入れ「履歴書・面接等」の指導に留まらず、ビジネスマナーの本質が「相手への感謝・思いやり・信頼」であることを理解させ、一つひとつの行動に意味があることを、きめ細かく指導します。また学生一人一人の状況を教職員で共有することにより、適宜対応できるように体制を整え、企業と学生のマッチングにより効率化を図ります。
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験 N1・N2、BJT ビジネス日本語能力テスト (J1, J2, J3)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	2 人	7.4%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 面談を行い、学生の意思を確認。		